

「PF ニュース」からのお知らせ

平成 24 年度からの PF-UA の発足に伴い、PF ニュースはウェブが主体となりましたが、引き続きご愛読を賜り感謝致します。今後も新しい企画記事の連載など誌面の充実につとめ、PF ニュースをより魅力あるものにしていきます。PF ニュースウェブページには、冊子版では白黒となっている図等もオリジナルのカラーのものを掲載しています。ウェブ版もお楽しみ頂ければと思います。

ウェブ掲載時にはメールでお知らせするシステムも運用しています。希望される方は、どうぞご登録下さい。PF ニュースウェブページにフォームを掲載しています（※ KEK の共同利用者支援システムでユーザー登録をされた皆様には、PF メルマガが配信され、そちらにも PF News 発行のお知らせが載りますので、その方はお知らせメールの登録は必要ありません）。

PF ニュース編集委員一同

投稿のお願い

【最近の研究から】

PF で行われた実験、研究の成果をお寄せ下さい。

【建設・改造ビームラインを使って】

特にビームラインの改良点、他のビームラインとの比較、要望等を是非お聞かせ下さい。

【ユーザーとスタッフの広場】

PF での実験の成果等が認められ受賞された方、海外放射光施設に滞在、訪問された方、国際会議等に参加された方、修士論文等、どうぞご投稿下さい。また PF に対するご意見等がありましたら是非ご投書下さい。

詳細は事務局または PF ニュース HP をご覧下さい。

宛 先

〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所 放射光実験施設内
PF ニュース編集委員会事務局
TEL : 029-864-5196 FAX : 029-864-3202
E-mail : pf-news@pfqst.kek.jp
URL : <https://www2.kek.jp/imss/pf/pfnews/>

編集後記

昔から目立つのは苦手だ。しかし、“ふと”思い立って立候補してしまうことがある。今回は編集委員 1 年目の終わりに“ふと”がやってきた。任期後半の 1 年は、副委員長として開始した。

オンライン会議が日常になってから往復の移動時間を心配することがなくなった。打合せや研究会への出席では拘束時間が短くなった。研究会での講演を依頼するときには、以前よりも円滑に日程調整が進むようだ。国際会議に参加するときには時差が気になる。日本では真夜中や早朝の会議への参加も増えたようだ。オンライン会議では四角い枠に収まった人々が並ぶ画面に向かって話しかける。味気ないかもしれないが、上手い対応ができれば好感される。ときにはカメラ OFF の会議がある。これにはまだ慣れない。名前だけが表示された黒い画面に向かって会話する。面識のない相手の場合、いったい誰と話しているのだろうかという気分になる。AI が会議に代理出席するなんて未来がきたときには、いったいどんな気持ちになるのだろうか。“ふと”した思いつきがきっかけで次につながることは誰しもあるだろう。対話から“ふと”したアイデアが出ることもある。顔の見えない相手との会議で“ふと”の回数は増えたのか減ったのか。新しい状況への柔軟な対応が生き残りの道なのだろう。(M.K.)

* 2021 年度 PF ニュース編集委員 *

委員長	清水 伸隆	物質構造科学研究所			
副委員長	古賀 舞都	産業技術総合研究所			
委員	井口 翔之	東京工業大学物質理工学院	石田 明	東京大学大学院理学系研究科	
	岩波 睦修	ENEOS (株) 中央技術研究所	岩野 薫	物質構造科学研究所	
	宇佐美徳子	物質構造科学研究所	門林 宏和	物質・材料研究機構	
	北村 未歩	物質構造科学研究所	木村 正雄	物質構造科学研究所	
	芝田 悟朗	東京理科大学理学部	高木 宏之	加速器研究施設	
	中村 顕	学習院大学理学部生命科学科	野澤 俊介	物質構造科学研究所	
	引田 理英	物質構造科学研究所	山崎 信哉	筑波大学数理物質系	
事務局	高橋 良美	物質構造科学研究所			